



市民しんぶん山科区版

2
15号

やましな

区役所HP <http://www.city.kyoto.lg.jp/yamasina/>

第3回 山科区基本計画策定委員会を開催しました

昨年12月21日、第3回山科区基本計画策定委員会を開催しました。
今回は、これまでの委員会で出された意見を5つのテーマに分け、
テーマごとにグループワークを行いました。区役所などの職員も
加わり、10年後に向けた取組内容を出し合いました。

次回の策定委員会で計画の素案を議論し、その後、素案に対す
るパブリックコメント（意見募集）を行う予定です。

問合せ先 区総務課企画広報担当(☎592-3066)

各委員など
からの意見

まちの魅力・観光

- 歴史と自然、伝統のある山科
の魅力を市内外へ発信を。
- 清水焼などをお土産として
活用しては。



- 区内にはアーティストが多いが、発表できる場が
少ないため、その場所の提供を。
- インターネットの活用、マップの配布、
観光ツアーの開催などで山科のPRを。
- 駐車場の整備、バスの充実、電動自転
車のシェアリングの実施やトレイルコー
スの紹介、スタンプラリーなどが必要。

環境

- 未来を担う小・中学生への啓発・
教育をベースにした環境活動を。
- 温暖化対策として、自転車貸
し出しのシステムであるシティ
バイクの実施を。
- 区内でフリーマーケットなどを行い、ごみの再利用、リサイ
クルの推進を。
- マイバッグ持参など区民の意識改革が必要。
- 不法投棄対策や学区を超えたまちの美化活動を。



交通・都市基盤

- 道路が狭い所が多いので、緊急車両の通行が課題。隣近所と連携
した緊急時の心掛けのほか、一方通行にする、歩行者専用分離帯
を作るなどし、山科全体を歩いて楽しいまちに。
- 駅前周辺はパーク＆ライドの充実を。
- 循環バスの設置などが考えられるが、財源確保が課題。
- 山科の10年後の計画として個性のある
まちづくりを目指したい。
- 子どもが安心して学べる環境を整え、子どもも大人も一緒にまち
をつくっていききたい。



福祉・子育て支援

- 子育て、高齢者、障害
児者のことなど、様々
な取り組みが必要。
- 住みやすいまちづくり
には、人と人とが信頼
関係を持ってつながっ
ていることが大切。



- 施設、制度の面でも行政の配慮が必要。人と人と
がつながる仕組みづくりを。子どもからお年寄り
までいろいろな人が出会う場所づくりなどが必要。
- イベントが行われてもその日限りになり
がち。それがきっかけで人がつながって
いけるようなプログラムに。

地域のつながり

- 自治会への入会が少なく、地域のつながりが弱い。
自治会のみに限らず、今ある自治の仕組みを使って
集まれる場を。また、自然に触れられる場所、ペッ
トの散歩ができる場所を活用し、まちの美化、安心・
安全に関する活動の促進を。
- 目標は、いろいろな世代が協力して暮らせること、一緒に何かができる
ことであり、あいさつなどから基盤づくりを。
- 区内にボランティア活動の拠点を確立し、年配の方と昔遊び、地域の宝
探しなどのイベントを行う、インターネットを利用した趣味のサークル
をつくるなど人がつながれる取り組みを。
- 学生などの転入者にも“山科が好き”になってもらえる取り組みが必要。



詳しくは、山科区役所ホームページ
(<http://www.city.kyoto.lg.jp/yamasina/>) の
「山科区基本計画策定委員会」をクリックしてください